

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
320263	XZY2320263	1	後期	国際学部国際文化学科	専門	選択必修	3年
				国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択必修	3年
授業科目	担当教員			情報文化学部情報文化学科	×	×	×
国際ビジネス英語 5A	高橋 綾子			情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	×	×	×
		情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	×	×	×		
授業目的							
TOEICを踏まえた演習問題に取り組みながら、英語の基礎力を高めることを目標とする。テキストの1UnitはTOEICのすべてのPartの問題で構成されているので、毎回すべてのPartを万遍なく演習する。[Warm-UP]でUnitのトピックに係る基本単語と復習としてのディクテーションをテストし、リスニング、リーディングのの順で授業を進める。予習を前提に授業を行うので、受講生には事前の準備が求められる。							
各回毎の授業内容							
第1回 【授】Course Orientation 【前・後】予習に1時間、テキストの該当箇所を学習すること。また復習に1時間、授業で取り上げた箇所が定着するように学習すること。				第9回 【授】Unit 7 Daily Life 【前・後】予習に1時間、テキストの該当箇所を学習すること。また復習に1時間、授業で取り上げた箇所が定着するように学習すること。			
第2回 【授】Unit 1 Campus Life 【前・後】予習に1時間、テキストの該当箇所を学習すること。また復習に1時間、授業で取り上げた箇所が定着するように学習すること。				第10回 【授】Unit 8 Post Offices & Banks 【前・後】予習に1時間、テキストの該当箇所を学習すること。また復習に1時間、授業で取り上げた箇所が定着するように学習すること。			
第3回 【授】Unit 2 Student Life 【前・後】予習に1時間、テキストの該当箇所を学習すること。また復習に1時間、授業で取り上げた箇所が定着するように学習すること。				第11回 【授】Unit 9 Entertainment 【前・後】予習に1時間、テキストの該当箇所を学習すること。また復習に1時間、授業で取り上げた箇所が定着するように学習すること。			
第4回 【授】Unit 3 Eating & Drinking 【前・後】予習に1時間、テキストの該当箇所を学習すること。また復習に1時間、授業で取り上げた箇所が定着するように学習すること。				第12回 【授】Unit 10 Trips & Vacations 【前・後】予習に1時間、テキストの該当箇所を学習すること。また復習に1時間、授業で取り上げた箇所が定着するように学習すること。			
第5回 【授】Unit 4 Shopping 【前・後】予習に1時間、テキストの該当箇所を学習すること。また復習に1時間、授業で取り上げた箇所が定着するように学習すること。				第13回 【授】Unit 11 Meetings 【前・後】予習に1時間、テキストの該当箇所を学習すること。また復習に1時間、授業で取り上げた箇所が定着するように学習すること。			
第6回 【授】Unit 5 Health 【前・後】予習に1時間、テキストの該当箇所を学習すること。また復習に1時間、授業で取り上げた箇所が定着するように学習すること。				第14回 【授】Unit 12 Jobs 【前・後】予習に1時間、テキストの該当箇所を学習すること。また復習に1時間、授業で取り上げた箇所が定着するように学習すること。			
第7回 【授】Unit 6 Business Situations 【前・後】予習に1時間、テキストの該当箇所を学習すること。また復習に1時間、授業で取り上げた箇所が定着するように学習すること。				第15回 【授】期末試験			
第8回 【授】中間試験 【前・後】予習に1時間、テキストの該当箇所を学習すること。また復習に1時間、授業で取り上げた箇所が定着するように学習すること。				第16回 【授】試験解説			
成績評価方法							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							60
小テスト・授業内レポート							40
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							
課題に対するフィードバックの方法 前回の小テストを採点して返却。解説を行う。							
教科書参考書							
Next Step tothe TOEIC Test(朝日出版社)							
受講に当たっての留意事項							
出席3分の2が必要である。教科書の[W a r m-u p]の重要語句の英単語テストとリスニングの復習となるディクテーションテストを随時行うので、順して臨むこと。							
学習到達目標							
国際学部ディプロマポリシーである「高度な語学運用能力をもって異文化理解」と「国際社会なる多文化状況にあってポジティブに協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力」を育成するため、実用英語の指標となる TOEIC のスコアを上げられるようリスニングとリーディング力を強化する。							
JABEE							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習